

2023年度S B I R推進プログラム（フェーズ2） 助成事業実施計画書

＜注意事項＞

- 本資料に記載している項目に必要情報を入力し、「助成事業実施計画書」を作成してください。
- フォーマットはあくまで例示であり、資料の体裁・分量を変えることは自由ですが、各ページの記載ガイド（青字）について十分な言及がない場合は、審査において十分に評価されない可能性があります。なお、事実・データ等の記載は、その出典を明記してください。
- 審査委員に公開したくない情報は、本提案書には記載しないでください。ただし、審査委員の判断材料が不足する場合は審査結果に影響する場合がありますのでご注意ください。
- 必要に応じて、参考資料（自由様式）を挿入してください。
- 応募にあたっては、公募要領及び交付規程をご覧ください。審査の結果、採択され、事業を実施するには、これらの内容に同意いただく必要があります。

研究開発課題番号：○
提案テーマ名：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
提案者名：株式会社●●●●●



製品・サービス
イメージ等

目次

【事業の実施計画】

1. 事業の概要
2. 実施体制

【技術の先進性】

3. 技術シーズの概要
4. 技術シーズの詳細

【事業化計画の妥当性・実効性】

5. 事業化における課題及びその解決方法
6. 技術的課題及びその解決方法
7. 開発スケジュール
8. 類似技術の状況及び知財戦略
9. 事業として成功すると考えた理由
10. 支出計画

【事業の実施計画】

【事業の実施計画】

1. 事業の概要 | 事業の全体像、研究開発課題との関係性（課題解決にどのように貢献できるか）

I. 事業の概要

- ・開発等が必要な背景、開発内容や目標、目標達成により解決される課題等の全体像を簡潔に記載してください。
- ・必要に応じて、図表（写真、透視図、ビジネスプラン等）も用いて表現してください。

II. 研究開発課題（トピック）との関連性

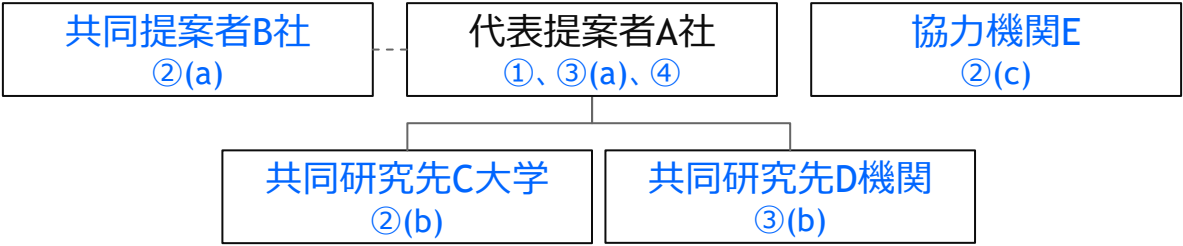
- ・今回提案する事業が、トピックに記載された政策課題等の解決に対し将来的にどのように貢献するか記載してください。

【事業の実施計画】

2. 実施体制 | 本事業を実施する上での研究開発体制（実施体制図、役割、連携方法等）

I. 実施体制図

・本事業を実施するための体制が整っていることについて、簡潔に記載してください。（主要メンバーのプロフィール、各人の役割、開発要員の確保、関連分野での開発実績、連携先 等）



- ・特定の実施者に対する支援・協力者は、両者を破線でつないでください。（特定の実施者ではなく、全体の支援・協力者の場合は、特に線でつなぐ必要はありません。）
- ・助成先を含め、すべての共同研究先に関して記載し、下記Ⅱ. の担当する研究開発項目の番号を記載してください。

Ⅱ. 各主体の担当する研究開発項目

- ・全体のスキームを全期間分について、以下のように分担が分かるように記載してください。共同提案の場合は共同提案者も記載してください。
- ・代表提案者A社は、①XXXの製作、③XXXの開発のうち(a)XXXの製作、④XXXの海外調査を担当する。
- ・共同提案者B社は、②XXXの研究のうち(a)XXXの設計を担当する。
- ・共同研究先C大学は、②XXX研究のうち(b)XXXの試験を担当する。共同研究先D機関は、③XXXの開発のうち、(b)XXXの評価を担当する。
- ・協力機関Eは、②XXX研究のうち、(c)XXXの実証を担当する。

Ⅲ. 共同研究先の妥当性

- ・共同研究先（共同研究者：XX教授等も記載）の本提案に関する保有技術、これまでの実績、提案者との関係など、共同研究先としての妥当性を記載してください。
例）共同研究先のXX教授は、これまでXXの研究を行ってきており、本事業においてもXXに係る開発を行うため、本事業の事業化を加速する意味でも参画は妥当である。

【技術の先進性】

・採択審査委員には守秘義務がありますが、非公開としたい情報は提案書には記載しないようにしてください。ただし、この場合、採択審査委員の判断材料が不足するために、審査に影響が生じる可能性がありますのでご注意ください。

【技術の先進性】

3. 技術シーズの概要 | 本事業の基盤となる技術シーズの概要

・本事業の基盤となる技術シーズの概要を記載してください。本項目では専門用語をなるべく避け、多くの人が理解できる内容としてください。

引用

・技術シーズに関する引用がある場合、参考文献等を記載してください。

[参考論文]

1)根戸太郎.XXX（タイトル）.XXX学会誌. 20XX, Vol. X, No. X, p. XX-XX.

[参考文献]

2)川崎花子.XXX（タイトル）. XXX出版, 20XX, p.XX, 第X版 ※版表示は2版以降の場合のみ記述

[参考Webサイト]

3)神奈川次郎.“XXX（タイトル）”. 株式会社XXXホームページ. <https://www.XXX>, (20XX-X-X閲覧).

【技術の先進性】

4. 技術シーズの詳細 | 技術シーズの特徴（読み手に当該分野の前提知識があるものとして、より詳しく記載）

- ・読み手に当該分野の前提知識があるとして、技術シーズの特徴をより詳しく記載してください。
- ・特に、今回の提案のコアとなる技術シーズの特徴について、他にない魅力的な点や新しい点等について記載してください。

主要論文・研究発表等

- ・提案テーマに関する主要論文、研究発表について記載してください。

[論文発表]

1) ○○○○他：“○○の材料開発”，○○学会誌，○○巻○○号，p.○○○，2008.

[研究発表]

2) ○○○○他：“○○の探索”，○○討論会，東京，2007.

[受賞歴]

3) ○○○○他：“○○の探索”，○○討論会，○○賞，東京，2007.

【事業化計画の妥当性・実効性】

・提案時には、事業化が想定されているかどうかを審査させていただきます。想定されていない部分については、今後どのようにして内容の充実を図っていくのか、事業化に向けての取り組み課題を明確にし、採択された場合に実施する内容を具体的に記載してください。

【事業化計画の妥当性・実効性】

5. 事業化における課題及びその解決方法 | 顧客や市場から受け入れられ政策課題を解決できることの説明

I. 事業化に係る課題及びそれに対する解決策

- ・これまで、どのような課題があり、どのような解決法が採用されていたのかを記載してください。
- ・また、具体的な事業（ビジネス）にするために、提案テーマで解決すべき課題及び解決に向けたアプローチ方法を具体的に記載してください。
（例：「顧客の要望にもとづき、～～の仕様を明確化」、「＃＃との事業連携」、「販路の確立」、「事業化の達成時期：20**年度 上期／下期」）

II. 売上見通し

- ・売上見通しについて、どのような仕組みで収益を得るのか、収益の算出根拠となる製品、サービス等の予定価格等を含め、具体的な収益計画を説明してください。

【事業化計画の妥当性・実効性】

6． 技術的課題及びその解決方法 | 事業化までに解決すべき重要な技術的課題とその解決方法

I． 従来の問題点

・事業化までに解決すべき重要な技術的課題とその解決方法について、具体的に記載してください。

II． 成果指標の設定と計測方法

・解決すべき技術的課題に対し、技術開発の検証事項、成果指標及びその計測方法を具体的かつ定量的に記載してください。

研究開発項目	目標（値）	実施担当者
①〇〇〇の検討		
（a）		〇〇（株）
（b）		〇〇（株）
②〇〇の開発		
（a）		◇◇大学△△学部
（b）		〇〇（株）、□□（株）
③ビジネスプランの作成		
（a）		〇〇（株）、◇◇大学△△学部
（b）		□□（株）
④〇〇〇〇委員会の開催		

III． これまでの技術開発の状況等

・提案テーマにおける技術開発の基となる取り組みについて、開発内容、開発成果を、実験データ等を示しながら記載してください。

・成果指標の設定と同様ですが、提案内容が単なるアイデアではなく、科学的根拠や定量的な試算結果に基づくことが分かるように記載してください。

・本事業におけるフェーズ2では、フェーズ1に相当する概念実証（POC：Proof of Concept）・実現可能性調査（FS：Feasibility Study）が完了していることが提案の要件となります。提案時には、これまで提案者が実施してきた概念実証（POC：Proof of Concept）・実現可能性調査（FS：Feasibility Study）で得られた結果を基に、提案テーマの実現可能性が検証されていることを示してください。また、フェーズ2（本事業）の取り組み内容との違いについても記載してください。

【事業化計画の妥当性・実効性】

7. 開発スケジュール | (1) 事業化までの開発スケジュール (長期)

・別のExcelファイル『(別紙) フェーズ2 用』内の「長期スケジュール」のシートの様式を使用して、年次ベースで作成してください。

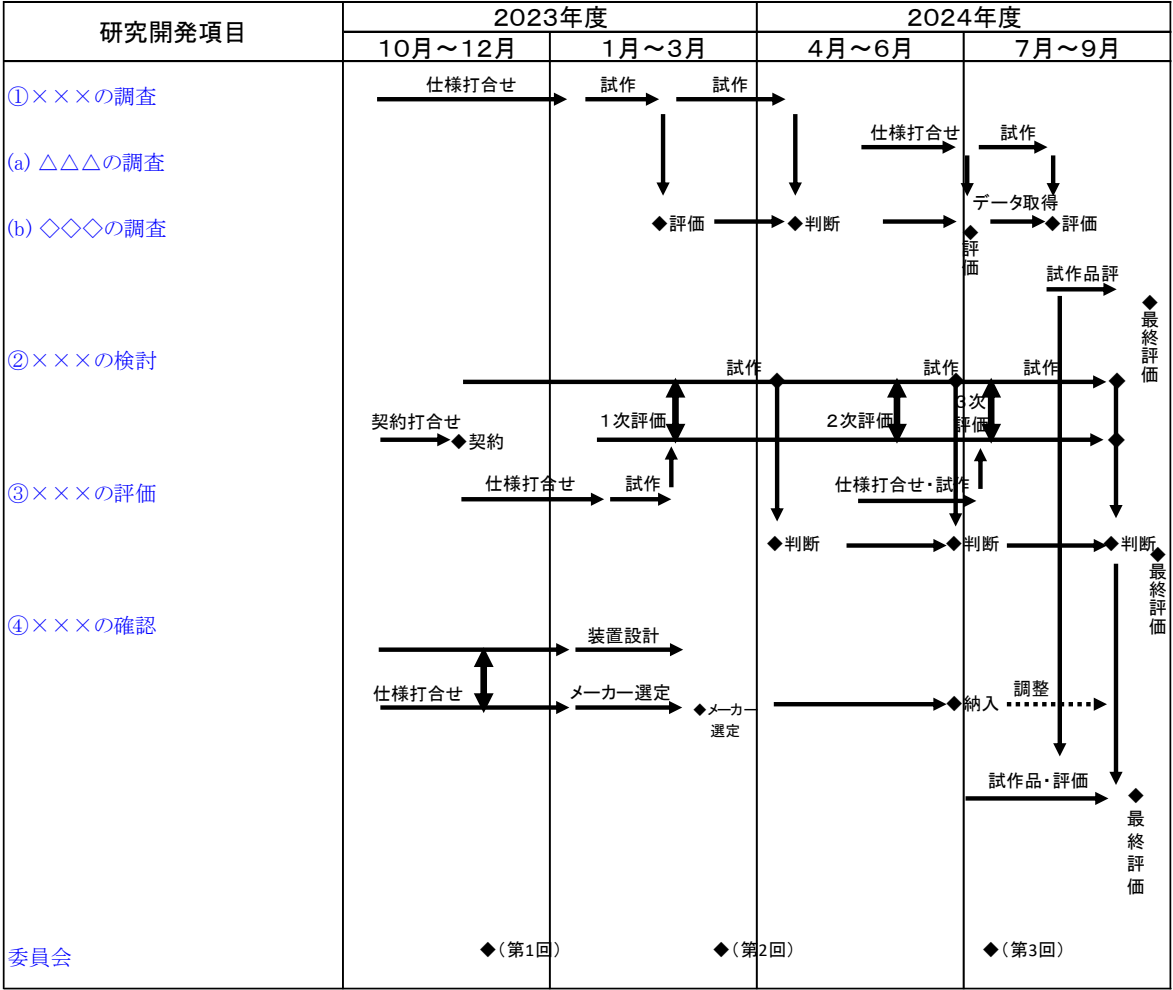
目安となる時期 研究開発項目	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	予想される 重大な障害
①試作機(またはサンプル等)の評価		フェーズ2							①要求特性を満足できない(評価期間の再延長)
②製品設計									②新たな顧客要求の追加(仕様の再検討)
③設備投資									③市況悪化による部材の高騰
④生産									④歩留り悪化による生産コストの高騰
⑤販売									⑤販売先での製品仕様変更に伴う販売量の減少
投資金額			35	110	30	30			
売上金(百万円)			0	0	250	375			
収益(百万円)			0	0	50	100			
直接新規雇用者数(累積人)			5	13	60	65			
間接雇用数を含む新規創出雇用者数(累積人)			12	35	98	123			

- ・想定する事業化の達成時期、事業化までのマイルストーンを具体的にわかりやすく記載してください。
- ・事業化の各段階において、事業化の中断や延期など、事業化全体の計画変更を考慮する必要がある重大な障害を予想し、記載してください。
- ・また、重大な障害が回避し得ない場合、どの時点で計画変更の判断を下すのかを、線表に記入してください。
- ・黒字転化する時期までを目処として、資金計画や人員計画、リソースの調達など、事業化に向けたアクションについても記載してください。

【事業化計画の妥当性・実効性】

7. 開発スケジュール | （2）本事業における開発スケジュール（短期）

・今回の採択での実施する開発スケジュールを、別のExcelファイル『（別紙）フェーズ2用』内の「短期スケジュール」のシートの様式を使用して、月次ベースで作成してください。



- ・各技術開発項目の実施スケジュールを記載してください。
- ・「技術動向調査」、「市場調査」、「ビジネスプランの作成」等の項目は、技術開発の成果が出てから着手するのではなく、実施期間の初期から着手してください。
- ・委員会の開催予定がある場合は、スケジュール表に記載してください。

【事業化計画の妥当性・実効性】

8. 類似技術の状況及び知財戦略 | 競合する類似プロダクトや代替ソリューションとの比較及び知財戦略

I. 類似技術の状況

- ・提供する技術、サービス、商品の先行事例や類似技術について、その状況を記載してください。
- ・直接的な競合だけではなく、課題の解決やニーズの充足が期待できる別の方法（間接的な競合）についても、可能な限り記載してください。

II. ビジネスに関与する知的財産権（特許等）の取得状況

- ・提案テーマに関する知的財産権（特許等）の取得状況等を記載してください。提案者及び全ての共同提案者も含め、提案テーマに関するすべて知的財産権の取得状況等を記載してください。
- ・現時点で取得済であるものは、「発明の名称」、「発明者」、「権利者」、「出願年月日」、「出願国」、「取得年月日」、「備考（登録番号等）」を記載の上、「内容（要約）」を記載してください。
- ・現時点で出願済であるものは、「発明の名称」、「発明者」、「出願人」、「出願年月日」、「出願国」、「経過情報（審査請求中等）」、「備考（出願番号等）」を記載の上、「内容（要約）」を記載してください。

III. 想定する知財戦略等

- ・「知財」とは、特許のみならず、実用新案、意匠、ノウハウなども含みます。
- ・現時点で想定される解決すべき技術課題、技術開発の内容、第三者の知財との関係を記載してください（例：「現在、関係が懸念される他社権利なし。アイデアは公表されていたが、具体的な解決策が示されたものはなかった。ただ、〇〇に替えて△△を採用することになった場合、△△については×社が多くの特許権を所有するため、採用前に再度検討する」など）。
- ・第三者の知財が事業化の障害となる場合は、想定する回避・打開策を記載してください。
- ・知財を創出する際に、注力するポイント（例：「〇〇の抽出法」「〇〇を実現する装置」）及びその扱いを記載してください（特許権取得を目指すのか、ノウハウとして保有し外部への漏洩策を講じるなど）。
- ・複数機関で提案する場合は、当該機関内における帰属先の特定方法、ライセンス条件、技術情報・ノウハウに関する取り決め等の概要を記載できる範囲で記載してください。

【事業化計画の妥当性・実効性】

9. 事業として成功すると考えた理由 | 顧客や市場から受け入れられ政策課題を解決できることの説明

I. 自社の強みと経験（技術優位性）

- ・従来不可能なことがどのレベルまで可能となるか、代替技術は何で、既存技術に比べて機能が何%アップするか、既存技術に比べてコストが何%下がるか等、従来（競合）技術と比較した際の優位性について、比較表を用いて、技術面・事業化面の両面で具体的に記載してください。
- ・比較を行うにあたって、既存製品との比較において、コスト・サイズ・重さ・精度・速度・耐久性等の面における定量比較を交えて、事業化した際の強み・弱みを客観的に分析してください。

II. 市場規模（現状と将来見通し）／産業創出効果

- ・商品・サービスのターゲットとする市場について、業界全般の状況を記載してください。
- ・市場を大分類から、個々の商品・サービス単位の小分類に至るまで区分して、段階的に、それぞれの市場規模やシェア構成等の概況について記載してください。
- ・法的規制、販売条件、季節変動等、市場に特異性がある場合には、併せて記載してください。
- ・市場規模の算出根拠（算式や資料名）を明確に記載してください。

III. 開発製品・サービスの競合製品に対する優位性（性能及び価格等の比較）

- ・他社や従来品・サービスとの違いや優位性が明確になるように記載してください。
- ・ターゲット市場に受け入れられる 4 P の組み合わせに関する検討状況について記載してください。
 - a) Product : どの市場のどの顧客に対して、どんな製品・サービスを開発・製造していくのか、これまでのマーケティング調査結果を基に具体的に記載してください。
 - b) Price : 提供する製品・サービスの価格の設定について、これまでのマーケティング調査結果を基に設定根拠を明確にして記載してください。
 - c) Place : どのような流通経路・チャネルを通してどこで販売していくのか記載してください。
 - d) Promotion : どのような販売促進活動を行うのか記載してください。
 - e) 最大の特徴 : 提案テーマの事業化（ビジネス化）の最大の特徴を記載してください。

IV. 波及効果

- ・提案テーマにおける技術開発の実施により、国民生活や社会経済に対する波及効果を記載してください。
- ・他市場への展開や派生技術等も含め、大きな市場をターゲットとすることができるとともに、短期間で、高収益が望める収益モデルとなっていることが分かるように記載してください。

10. 支出計画 | 本事業における資金計画

- ・本事業における支出計画について、別のExcelファイル『（別紙）フェーズ2用』内の「支出計画」のシートの様式を使用して、実施内容との関係性が分かるように具体的に記載してください。
- ・共同提案者や共同研究先がある場合は、本スライドをコピーして追加してください。

株式会社□□ 項目別明細表(20 年度)						積算基礎(円)	助成事業に要する経費	助成対象費用	助成金の額(円)
1. 機械装置等費							0	0	
(1) 土木・建築工事費							0	0	
	〇〇土木・建築工事費	@	円	×	H	=	0	0	
(2) 機械装置等製作・購入費							0	0	
	〇〇製作設計費	@	円	×	H	=	0	0	
	〇〇製作加工費	@	円	×	H	=	0	0	
	〇〇試験装置 一式					=	0	0	
	〇〇評価装置 一式					=	0	0	
	〇〇作成装置 一式					=	0	0	
(3) 保守・改造修理費							0	0	
	〇〇装置改造費 一式					=	0	0	
	〇〇装置保守費 一式					=	0	0	
2. 労務費							0	0	
(1) 研究員費							0	0	
		@	円	×	H	=	0	0	
		@	円	×	H	=	0	0	
(2) 補助員費							0	0	
		@	円	×	日	=	0	0	
3. その他経費							0	0	
(1) 消耗品費							0	0	
	〇〇薬品 一式					=	0	0	
	〇〇実験器具 一式					=	0	0	
(2) 旅費							0	0	
	①研究員旅費					=	0	0	
	国内旅費一式					=	0	0	
	海外旅費一式					=	0	0	
	②有識者(専門家)旅費					=	0	0	
	海外旅費一式					=	0	0	
(3) 外注費							0	0	
	〇〇分析外注					=	0	0	
(4) 諸経費							0	0	
	①機械リース料	@	円	×	ヶ月	=	0	0	
	②委員会費					=	0	0	
	委員謝金一式					=	0	0	
	委員旅費一式					=	0	0	
I. 直接経費 (1. +2. +3.)							0	0	
II. 間接経費 I ×0%							0	0	
III. 共同研究費							0	0	
1. 法人化されていない国公立の研究機関等に対する共同研究費									
	▽▽県工業試験場					=			
2. 学術機関等に対する共同研究費									
	学校法人▽▽大学					=			
合計A(I + II + III)							0	0	
<補助率 2/3>									